

# モービルカラーTV

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。  
この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## ナビシステム付属用

正しい取付け  
正しい操作で  
安全運転

**警告**

# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、  
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

△警告・△注意 .....	4
---------------	---

主な特長 .....	6
------------	---

マスターユニットを接続していないとき

## ▶準備

テレビ局を自動で登録する .....	7
--------------------	---

## ▶ここだけ読んでも使えます

テレビを見る .....	8
ナビシステムの画面を見る ...	10
ビデオなどを見る .....	11
ワイド画面で見る .....	12

## ▶便利な機能

ナビ画面を見ながらほかの音声を聞く (サイマル機能) .....	13
一時的に音声や画面を消す .....	13
カーオーディオで音声を聞く (FMステレオトランスミッター) .....	14
デモモードを見る .....	15

## ▶設定と調節

画質を調整する .....	15
各種の設定 .....	16
ナビシステムの設定 .....	20

マスターユニットを接続しているとき

テレビやビデオなどを見る ...	22
ナビシステムの画面を見る ...	23
オーディオ情報を見る .....	24
オーディオ情報やラジオ局/テレビ チャンネルをリスト表示する .....	25

## 付録

使用上のご注意 .....	26
故障かな? .....	28
各部のなまえ .....	29
主な仕様 .....	31
索引 .....	裏表紙



火災



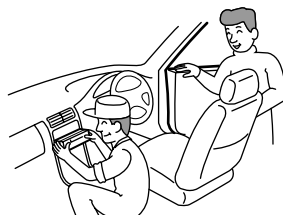
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により  
**死亡**や**大けが**の原因となります。

## 取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

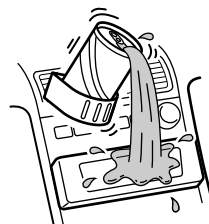


## 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

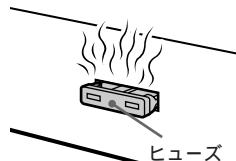


## 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



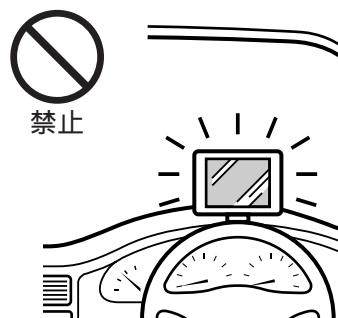
禁止



---

## 前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。  
また、取り付け場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

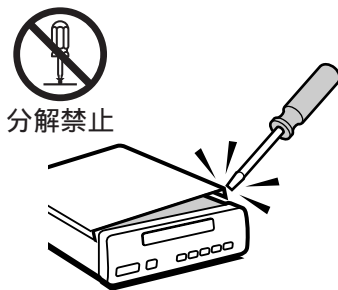


---

## 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

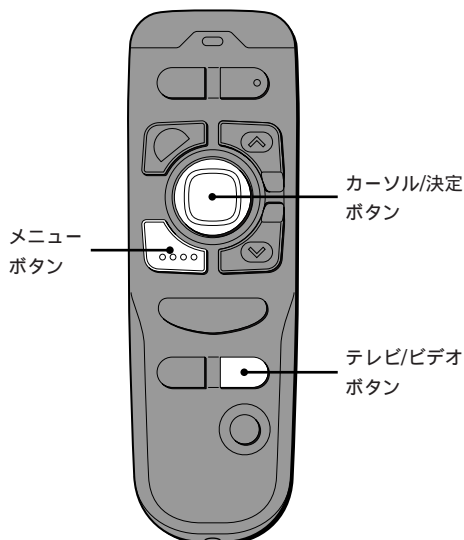


## 主な特長

- 通常のノーマル画面のほか、フル画面、ズーム画面、ワイドズーム画面が楽しめます。
- バックライトコントロール方式(DIMMER)を採用することで、コントラストの劣化が少なく、色の反転やつぶれの少ない画像を追求。また、周囲の明るさに応じて、画面の明るさを無段階で自動調整するオートブライトコントロール機能。また手動でバックライトをHIGH、LOW2段階に設定することもできます。
- 低反射処理の液晶パネルで外光の反射を低減。
- 画面を消して音声だけを楽しめる消画機能。
- モニター本体のボタンでテレビの基本操作が可能(マスターユニットを接続していないとき)。
- FMラジオ付カーオーディオでテレビなどの音声が楽しめるFMステレオトランスミッター。
- ステレオ、二ヶ国語放送(二重音声)が楽しめる音声多重回路。
- 4本のアンテナから受信状態の良いものを選び、受信する4系統ダイバーシティユニット。
- 受信できる局を20局まで自動的にメモリーできるオートメモリー機能。
- ナビシステムのほかソニーバス対応のTVコントロール機能付きマスターユニットやビデオデッキなどが接続できる豊富な入出力端子。
- ナビゲーション画面を映しながら、テレビなどとナビゲーションの音声を同時に聞くことができるサイマル機能。
- 後席用テレビを接続し、前席でナビシステムを、後席ではテレビを同時に見ることができるパラレルラインアウト機能。

# テレビ局を自動で登録する

現在ご覧になれるVHF/UHFのテレビチャンネルを1～20のチャンネルポジションに自動的に割り当てます。  
お買い上げ時(初期設定)では、VHF放送の1～12チャンネルが設定されています。

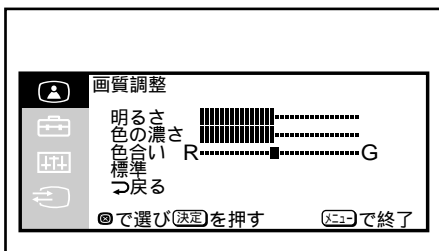


安全運転のために

テレビチャンネル登録設定やテレビを見るときは、安全な場所に停車してパーキングブレーキを確実に機能させた状態で操作してください。

## 1 テレビ画面を映し出す(8ページ)

## 2 メニューボタンを押す。



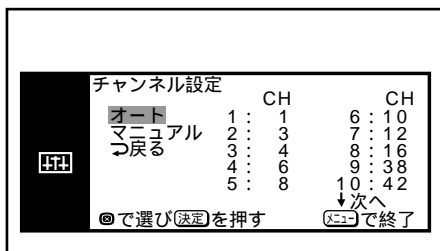
ご注意

- メニュー操作は画像の安定した状態で行ってください。
- ナビ画面のときは、メニューが表示されません。

## 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして [F4] (初期設定) を選び、ボタンを押す。



## 4 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「テレビチャンネル設定」を選び、ボタンを押す。



## 5 カーソル/決定ボタンで「オート」を選び、ボタンを押す。

画面右上に検索しているチャンネルが表示され、自動的に現在ご覧になれるチャンネルが1から最大20までのチャンネルポジションに順次登録されます。

チャンネルポジション11以降を確認するときは、「マニュアル」を選んで決定ボタンを押し、「次へ」を選ぶと見ることができます。

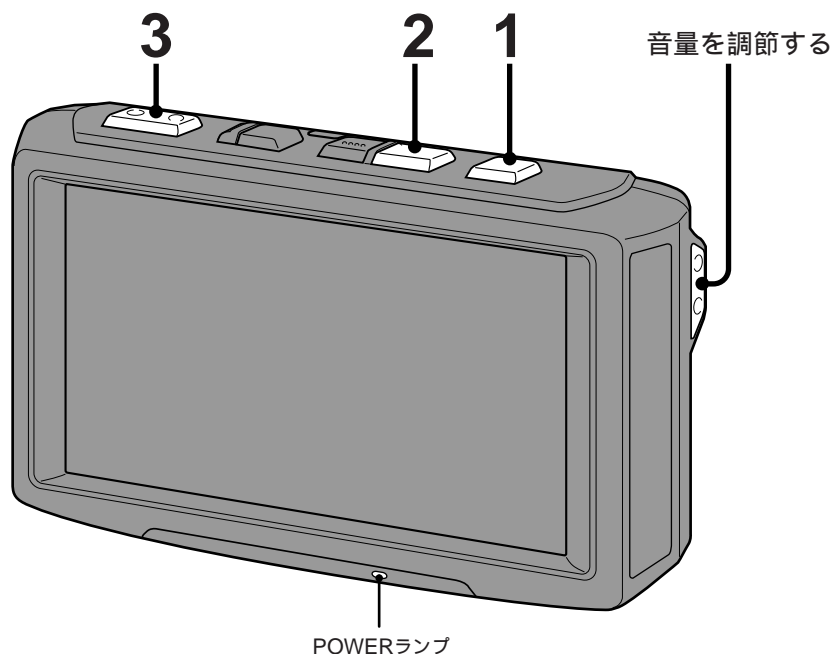
## 6 設定が終わったら、リモコンのメニューボタンを押す。

### 登録されたチャンネルを変えたいときは

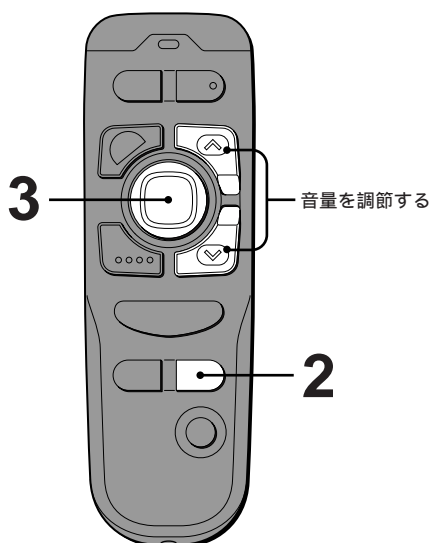
「チャンネルを手動で設定する」(19ページ)をご覧ください。

# テレビを見る

モニター



リモコン



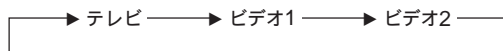
## 1 POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

## 2 TV/VIDEOボタンを押して、テレビを選ぶ。

リモコンで操作するときはテレビ/ビデオボタンを押します。

ボタンを押すごとに次のように画面が切り換わります。



ナビ画面のときはNAVIボタンを押してから、TV/VIDEOボタンを押します。

## 3 SEARCHボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

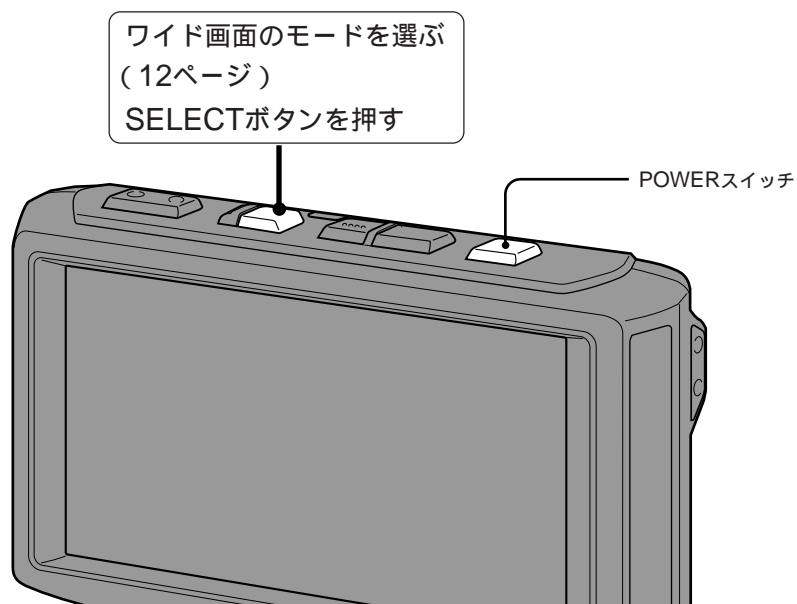
リモコンで操作するときはカーソル/決定ボタンを左右に動かして選びます。

放送局がないチャンネルは自動的にとばします。

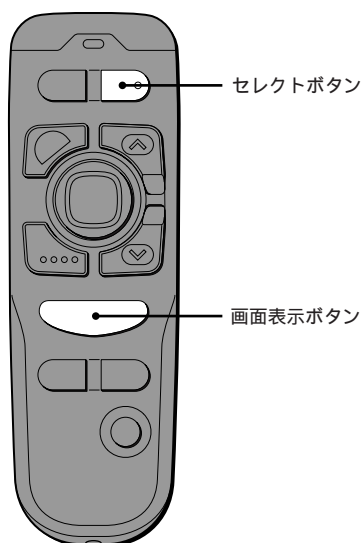
画面右上にチャンネル番号が表示されます。また、登録されているチャンネルの放送局を見るときは、リモコンのカーソル/決定ボタンを上下に押すと確認できます。



## モニター



## リモコン



### テレビを消すには

POWERスイッチを押す。

### チャンネル番号を画面に表示するには

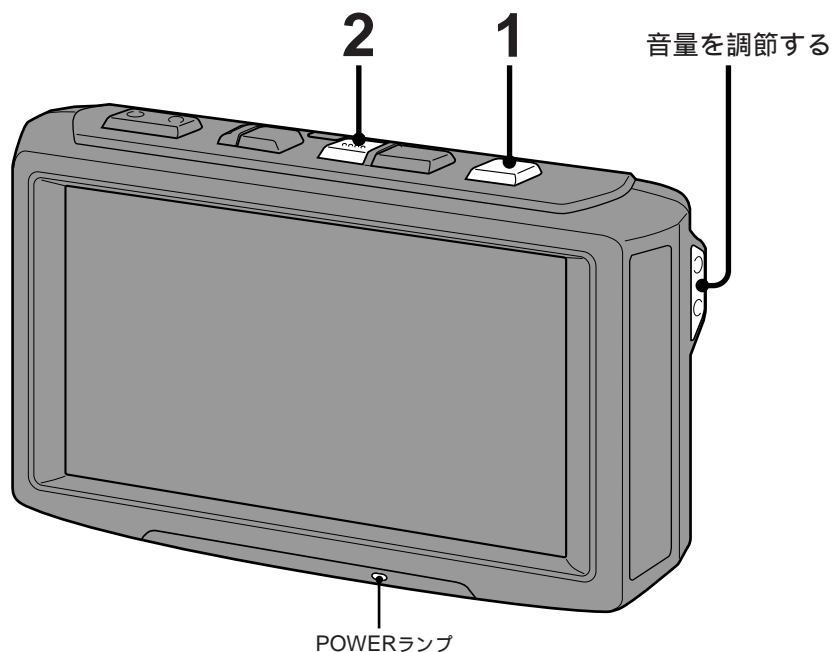
画面表示ボタンを押す。

### ナビの交差点拡大画面やVICS情報、案内音声を割り込ませるには

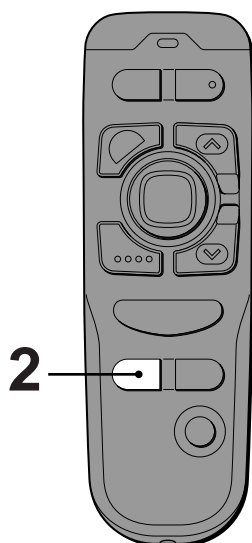
「ナビシステムの設定」(20ページ)をご覧ください。

# ナビシステムの画面を見る

モニター



リモコン



## 1 POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

## 2 NAVIボタンを押す。

リモコンで操作するときはナビボタンを押します。

### ご注意

- ナビゲーションの操作は、ナビゲーションシステム用の取扱説明書をご覧ください。
- 本機のPOWERスイッチは、ナビゲーションシステムの電源の入/切とは連動していません。
- ナビ画面のときは、リモコンで音量調節はできません。

### ナビ画面を消すには

POWERスイッチを押す。

テレビやビデオを見ているときに交差点拡大画面、VICS情報、案内音声を割り込ませるには

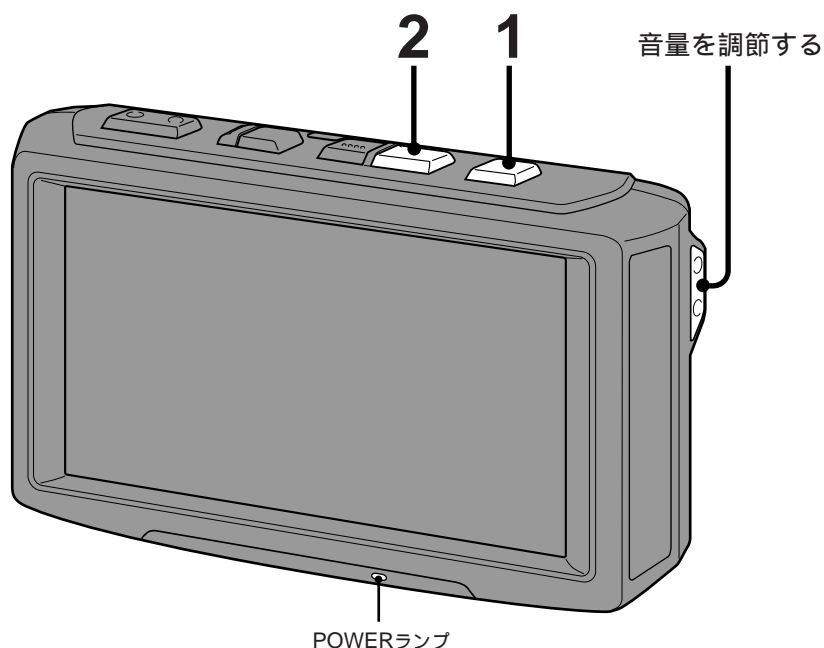
「ナビシステムの設定」(20ページ)をご覧ください。

# ビデオなどを見る

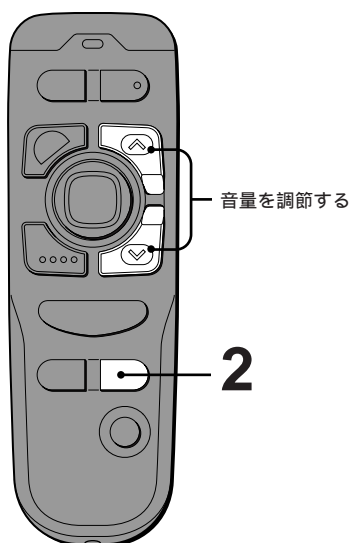
ここだけ読んでも  
使えます

ビデオ機器（別売り）などを接続したとき

## モニター



## リモコン



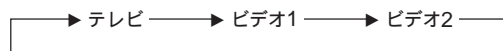
### 1 POWERスイッチを押す。

POWERランプが点灯します。

### 2 TV/VIDEOボタンを押す。

リモコンで操作するときはテレビ/ビデオボタンを押します。

ボタンを押すごとに次のように画面が切り換わります。



ナビ画面のときはNAVIボタンを押してから、TV/VIDEOボタンを押します。

#### ご注意

- ビデオ機器の操作は、ビデオ機器側のリモコンで行なってください。
- 本機のPOWERスイッチは、ビデオ機器の電源の入/切とは連動していません。

## ビデオ画面を消すには

POWERスイッチを押す。

# ワイド画面で見る

画像に応じて最適な映しかたでご覧になれます。通常の表示画面サイズ(4:3)のほかワイド(全表示画面)、ズーム画面、ワイドズーム画面に切り換えられます。

## 画面サイズの選びかた

SELECTボタンを押す。

リモコンで操作するときはセレクトボタンを押します(ナビ画面のときは動きません)。

押すごとに次のように画面サイズが切り換わります。



ノーマル(通常)  
横縦比4:3の映像(通常の画像)。



フル  
横縦比4:3の映像を左右に合わせて拡大した映像。

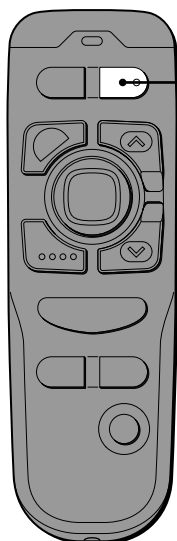
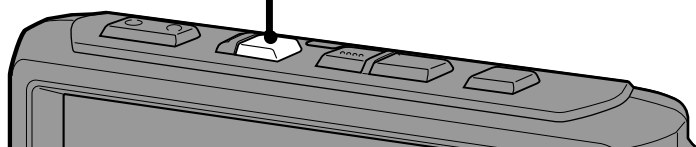


ワイドズーム\*  
横縦比4:3の映像を左右周辺だけ拡大し、画面いっぱいにした映像。



ズーム\*  
横縦比4:3の映像を左右に合わせて拡大し、画面に収まるように上下のはみ出た部分をカットした映像。

\*ナビ画面のときはズームおよびワイドズームにすることはできません。



セレクトボタン

### ご注意

- ・本機は各種の画面サイズ切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なる画面サイズを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差ができます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ・本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ワイド映像でない従来の4:3の映像をズームおよびワイドズームを利用して画面いっぱいに表示してご覧になると周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えることがあります。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルでご覧になれます。
- ・ズームでご覧になると、画像が粗くなります。
- ・家庭用のワイドテレビとはワイドズームが異なります。
- ・画面サイズを換えるとナビシステムの地図画面の縮尺も変化しますのでご注意ください。

# ナビ画面を見ながら ほかの音声を聞く (サイマル機能)

ナビシステムなどの画面を映しながら、テレビやビデオの音声を同時に聞くことができます。

- 1 テレビやビデオの画面にする。
- 2 モニター本体のNAVIボタンを2秒以上押す。  
リモコンではナビボタンを2秒以上押す。  
ナビシステムの画面が映りますが、音声は表示されているテレビのチャンネルまたはビデオの音声になります。

後席用モニターを接続した場合、そのモニターでテレビやビデオを見ることができます(パラレルラインアウト機能)。なお、安全のため後席用モニターは絶対に前席には取り付けないでください。  
パラレルラインアウト機能をお使いになるときの接続については、「取り付けと接続」をご覧ください。

## 聞いている音声を別のチャンネル や入力ソースに換えるには

### チャンネルを換えたいときは

モニター本体のSEARCHボタンでチャンネルを切り換える。

### 入力ソースを換えたいときは

モニター本体のTV/VIDEOボタンで切り換える。

## テレビやビデオの画面にするには

- 1 リモコンのナビボタンを2秒以上押す。
- 2 テレビ/ビデオボタンを押す。

## サイマル機能を解除するには(テレビやビデオの音声を消す)

リモコンのナビボタンを2秒以上押す。

# 一時的に音声や 画面を消す

## 音声を消す(ミュート機能)

一時的に音声を消すときに使います。

消音/消画ボタンを押す。  
画面左下に「消音」と表示されます。

## 音声をもとの音量に戻すには

消音ボタンをもう一度押すか、または音量ボタンを押す。

### ご注意

- ナビ画面のときは、働きません。
- 消音状態のときに本機の電源を切ったり、イグニッションキーをOFFにすると、次に電源を入れたとき消音は解除されます。
- 「消音」表示中にリモコン操作をすると、リモコンの操作音も消音されます。

## 画面を消して音声だけを聞く (消画機能)

消音/消画ボタンを2秒以上押す。  
現在見ていた画像(バックライト)が消え、  
音声のみが聞こえます。

## 音量を調節するには

音量ボタンを押す。

## もう一度画像を映し出すには

消音/消画ボタンをもう一度押すか、他のボタンを押す。

### ご注意

- ナビ画面のときは、働きません。
- 消画状態のときに本機の電源を切ったり、イグニッションキーをOFFにすると、次に電源を入れたとき消画は解除されています。

ここだけ読んでも  
使えます

便利な機能

# カーオーディオで音声を聞く (FMステレオトランスミッター)

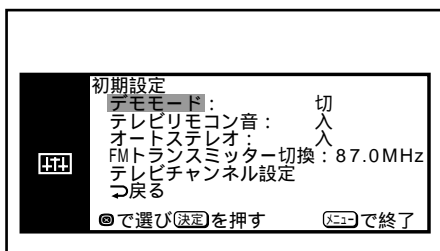
テレビやビデオの音声をFM信号に変換してカーオーディオのFMチューナーで受信して聞くことができます。

テレビやビデオの画面にして、次の操作をします。

## 1 メニューボタンを押す。

メニュー画面になります。

## 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして **[F1]** (初期設定) を選び、ボタンを押す。



## 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「FMトランスミッター切替」を選び、ボタンを押す。



## 4 カーソル/決定ボタンを左右に動かして送信周波数を設定し、ボタンを押す。

カーソル/決定ボタンを左右に動かすと  
0.1MHzづつ変わります。

設定できる周波数はFM86.0MHz～89.0MHz  
間で設定することができます。

ご注意

FMラジオの放送のしていない周波数に設定してく  
ださい。

## 5 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

## 6 カーオーディオのFM受信周波数を 手順4で設定した周波数に合わせる。

ご注意

カーオーディオのサーチモードでFM放送の周波数を合わ  
せると、設定した周波数で止まらないことがあります。

この場合、手動で合わせてください。

## 音量を調節するには


カーオーディオ側で音量を調節する。

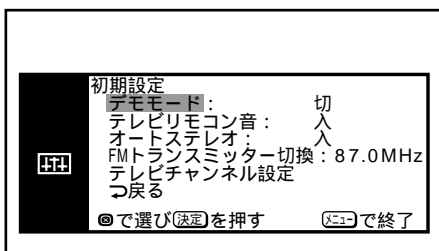
本機からも同時に音声出力されていますので、本機  
の音量を小さめにしておいてください。

# デモモードを見る

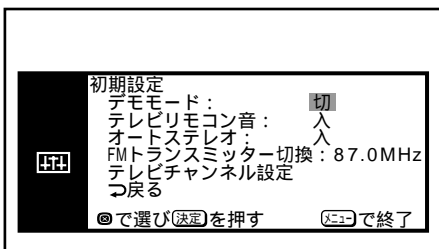
デモモードを使って本機で見ることでできる機能やモードがデモンストレーションできます。

テレビやビデオの画面にして、次の操作をします。

- 1 リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。
- 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして  (初期設定) を選び、ボタンを押す。



- 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「デモモード」を選び、ボタンを押す。



- 4 カーソル/決定ボタンを左右に動かして「入」を選び、ボタンを押す。
- 5 設定が終わったら、メニューボタンを押す。  
デモンストレーションが始まります。


## デモモードをやめるには

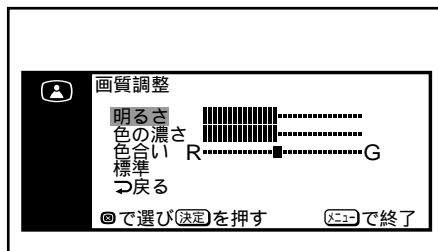
手順4で「切」を選ぶ。

# 画質を調整する

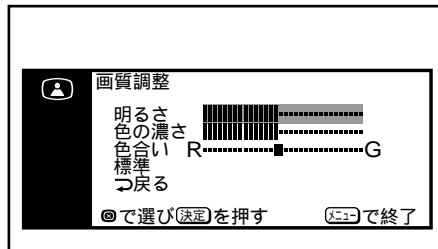
周囲の明るさや見る位置に合わせての明るさ、画面の色の濃さや色合いを調整し見やすくすることができます。

テレビやビデオの画面にして、次の操作をします。

- 1 リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。
- 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして  (画質調整) を選び、ボタンを押す。



- 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「明るさ」または「色の濃さ」、「色あい」を選び、ボタンを押す。

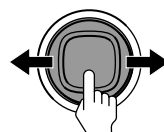


「明るさ」を選んだときの表示

ご注意

明るさを調整するときは、一度テレビやビデオの画面にしてから操作してください。ただし、ナビゲーション画面の「色の濃さ」および「色あい」は調整できません。

- 4 カーソル/決定ボタンを左右に動かして調整し、ボタンを押す。



明るさ： 暗くなる      明るくなる  
色の濃さ： 淡くなる      濃くなる  
色合い： 赤みがかかる      緑がかかる

調整すると同時に画面も変化しますので映像を見ながら調整してください。

## 画質を調整する(つづき)

- 5** 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

### 画質調整を初期設定にするには

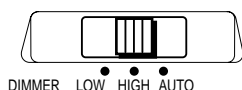
画質調整の設定手順3で「標準」を選ぶ。

明るさと色の濃さ、色合いが初期設定に戻ります。

### 周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを調整する (ブライต์コントロール機能)

周囲の明るさに合わせて、液晶パネルに内蔵されているバックライト(蛍光管)の明るさを調節して画面を見やすくすることができます。モニター側面部のDIMMERスイッチをLOWまたはHIGH、AUTOに切り換えてください。

モニターの左側面部



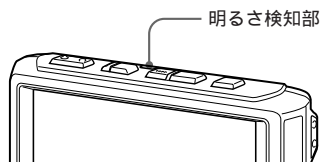
LOW : 画面の明るさを暗く設定する。

HIGH : 画面の明るさを明るく設定する。

AUTO : 明るさ検知部で周囲の明るさを検知し、自動的に画面を見やすい明るさに調節します  
(オートブライต์コントロール)。

ご注意

- 明るさ検知部をふさがないようにしてください。オートブライต์コントロール時に動作しなくなります。



- 夜間にHIGH設定でご覧になっているとまぶしすぎることがあります。画面を見てすぐの運転は危険ですので、しばらくして目が外の明るさになれてから運転をしてください。

## 各種の設定

### モニターなどの音声出力の設定

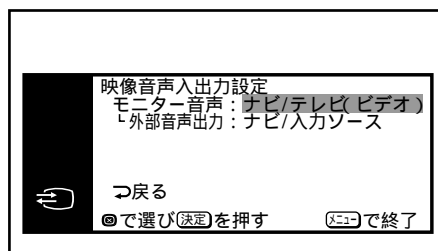
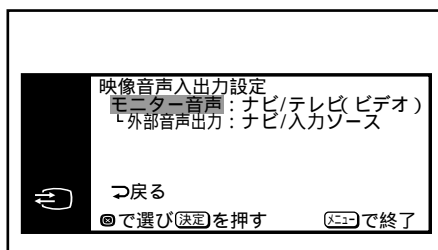
モニターのスピーカーからの音声出力を設定します。

- モニタースピーカーからの音声出力をナビの音声案内のみか、ナビとテレビまたはビデオの音声とミックスして出力させるかを選ぶことができます。

- FMステレオトランスミッターおよび外部モニターに出力するソースを選ぶことができます。

テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

- リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。
- カーソル/決定ボタンを上下に動かして (映像音声入出力設定) を選び、ボタンを押す。
- カーソル/決定ボタンを上下に動かして「モニター音声」を選び、ボタンを押す。





- 4** カーソル/決定ボタンを左右に動かして「ナビ」または「ナビ/テレビ(ビデオ)」を選び、ボタンを押す。

ナビ： モニターのスピーカーからはナビの音声案内のみ出力する

ナビ/テレビ(ビデオ)：

モニターのスピーカーからはナビの音声案内とテレビまたはビデオの音声が入力ソースとミックスされて出力する

- 5** カーソル/決定ボタンを左右に動かして外部音声出力の設定を切り換え、ボタンを押す。

外部音声出力：

FMステレオトランスミッターと外部モニターへ出力する音声の設定。

映像は入力ソースを出力します。ただし、ソニーナビ専用端子に接続した場合は外部モニターへ映像は出力されません。

手順4で「ナビ」を選んだときは  
カーソル/決定ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

入力ソース\*： 入力ソースを出力する



ナビ： ナビの音声案内のみ出力する

手順4で「ナビ/テレビ(ビデオ)」を選んだときは  
カーソル/決定ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ナビ/入力ソース\*： ナビと入力ソースの音声をミックスして出力する



入力ソース\*： 入力ソースを出力する

\* 入力ソース： 画面に映っている画像の音声


- 6** 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

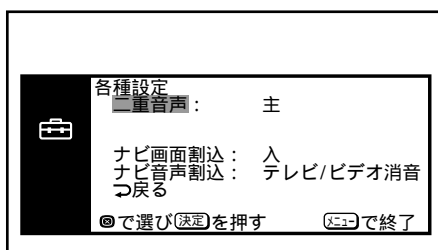
## 二重音声の設定

二重音声放送時の音声(主音声と副音声)を設定します。

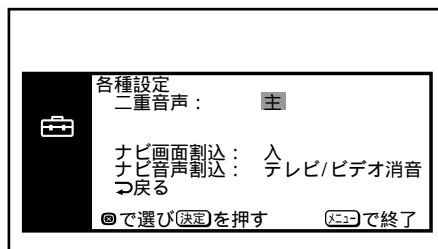
テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

- 1** リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。

- 2** カーソル/決定ボタンを上下に動かして  (各種設定)を選び、ボタンを押す。



- 3** カーソル/決定ボタンを上下に動かして「二重音声」を選び、ボタンを押す。



- 4** カーソル/決定ボタンを左右に動かして「主」または「副」を選び、ボタンを押す。

主： 左右スピーカーから主音声のみ出力する

副： 左右スピーカーから副音声のみ出力する

- 5** 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

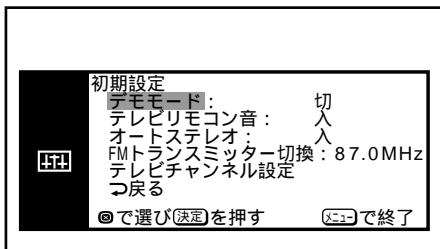
# 各種の設定(つづき)

## ステレオ音声の設定

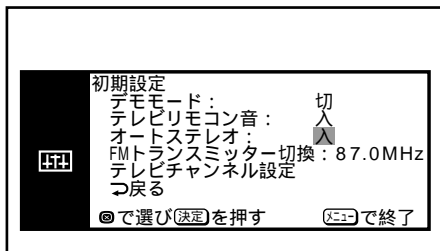
ステレオ放送時の音声を設定します。

テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

- 1 リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。
- 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして **[F1]** (初期設定) を選び、ボタンを押す。



- 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「オートステレオ」を選び、ボタンを押す。



- 4 カーソル/決定ボタンを左右に動かして「入」または「切」を選び、ボタンを押す。

入：ステレオ放送のとき自動的にステレオ音声にする

切：常時モノラル音声にする

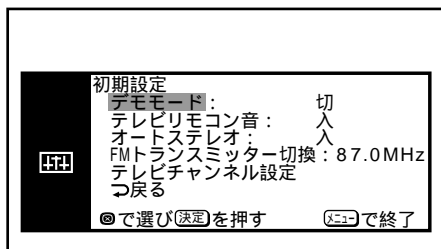
- 5 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

## リモコン操作音の設定

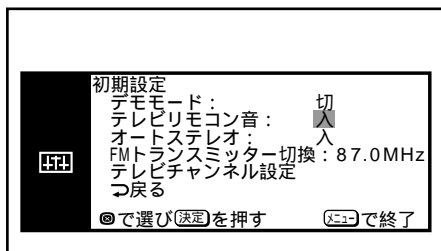
リモコン操作時の操作確認音を消すことができます。

テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

- 1 リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。
- 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして **[F1]** (初期設定) を選び、ボタンを押す。



- 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「テレビリモコン音」を選び、ボタンを押す。



- 4 カーソル/決定ボタンを左右に動かして「入」または「切」を選び、ボタンを押す。

入：操作音が出る

切：操作音が出なくなる

- 5 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

テレビのステレオ放送で雑音が気になるときは

「オートステレオ」設定を「切」にする。

## チャンネルを手動で設定する

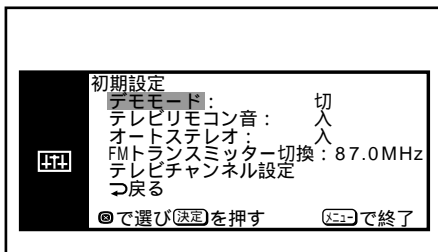
自動設定したチャンネルを変更するときや郊外でよくお使いになるときなどに手動で設定します。

テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

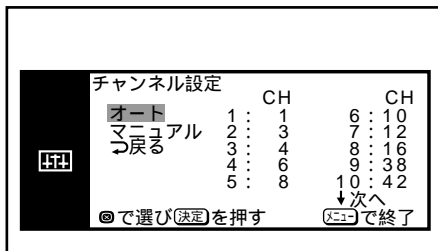
### 1 リモコンのメニューボタンを押す。

メニュー画面になります。

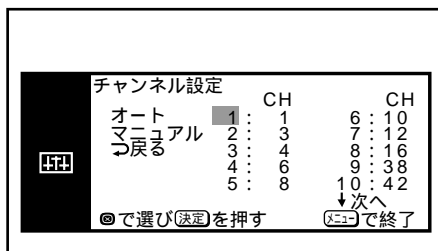
### 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして **[F.T.]** (初期設定) を選び、ボタンを押す。



### 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「テレビチャンネル設定」を選び、ボタンを押す。



### 4 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「マニュアル」を選び、ボタンを押す。



カーソルが登録番号「1」に移ります。

### 5 カーソル/決定ボタンを上下左右に動かして変更 / 登録したいチャンネルポジションを選び、ボタンを押す。

チャンネルポジションを選ぶと登録されていたチャンネルの映像に切り換わります。また、今まで登録されていないチャンネルポジションを選んだときは、その前に映し出されていた映像のままです。

### 6 カーソル/決定ボタンで登録したいチャンネルを選び、ボタンを押す。

ここでのカーソル/決定ボタンは、次のような操作になります。

上下に動かすと、手動でチャンネル切り換えができます。

左右に動かすと、自動的に次に受信できるチャンネルにとばします。

チャンネルの変更/設定時は画面にチャンネルの映像が映しだされますので、画面を見ながら設定できます。

11局目以降を見るときは「次へ」をカーソル/決定ボタンで選びます。

### 7 手順5～6を繰り返して、設定する。

### 8 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

#### ご注意


チャンネル設定中に受信状態の悪いチャンネルが映り、メニュー画面が見えにくくなることがあります。このときはカーソル/決定ボタンを左右に動かして、受信状態の良いチャンネルを自動的に受信させてから、設定を続けてください。

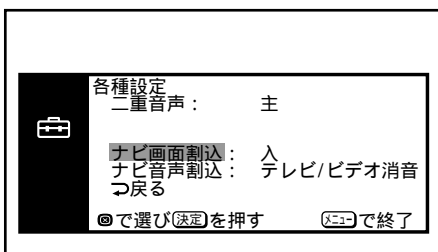
# ナビシステムの設定

## 交差点拡大やVICS情報の画面を自動的に割り込ませるには

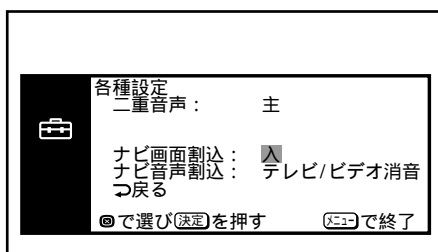
テレビやビデオを見ているときでも、交差点に近づいたときやVICSの新しい情報が入ったときに自動的にナビ画面に切り換えることができます。

テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

- 1 リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。
- 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして  (各種設定) を選び、ボタンを押す。



- 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「ナビ画面割込」を選び、ボタンを押す。



- 4 カーソル/決定ボタンを左右に動かして「入」または「切」を選び、ボタンを押す。

入：自動的にナビ情報の画面に切り換わる


切：常時テレビまたはビデオの映像

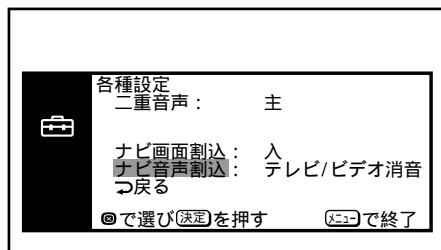
- 5 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

## 案内音声を自動的に割り込ませるには

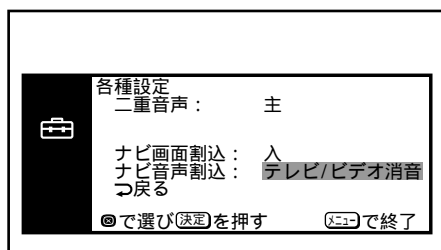
ナビの案内音声が出力されたときに、テレビやビデオの音声を自動的に消音させることができます。

テレビやビデオ画面にして、次の操作をします。

- 1 リモコンのメニューボタンを押す。  
メニュー画面になります。
- 2 カーソル/決定ボタンを上下に動かして  (各種設定) を選び、ボタンを押す。



- 3 カーソル/決定ボタンを上下に動かして「ナビ音声割込」を選び、ボタンを押す。



- 4 カーソル/決定ボタンを左右に動かして「テレビ/ビデオ消音」または「ミックス」を選び、ボタンを押す。

テレビ/ビデオ消音：

ナビの音声案内があると自動的にテレビまたはビデオの音声が消音される

ミックス：テレビまたはビデオの音声にナビの案内音声ミックスされる

- 5 設定が終わったら、メニューボタンを押す。

ご注意

- マスターユニットと接続している場合は、このメニューは表示されません。
- マスターユニットからの音楽を消音するときは、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

## モニタースピーカーやFMトランスミッターからの音声出力について

音声案内が割り込まれるときは、「ナビ音声割込」の設定(20ページ)と「モニターなどの音声出力の設定」(16ページ)によって、モニタースピーカーやFMトランスミッターからの音声出力が異なります(下の一覧をご覧ください)。

なお、ナビシステムの画面に切り換えているときは、どの設定でも常にナビの音声出力されます。

メニュー設定			音声出力	
各種設定の ナビ音声割込	映像音声入出力設定		モニタースピーカーの 音声は？	トランスミッター外部出力 の音声は？
	モニター音声出力	外部音声出力		
テレビ/ビデオ消音	ナビ/テレビ (ビデオ)	入力ソース	テレビ/ビデオ音声を消音して ナビ音声を出力	テレビ/ビデオ音声を消音
ミックス			テレビ/ビデオ音声とナビ音声 のミックス	テレビ/ビデオ音声
テレビ/ビデオ消音		ナビ/入力ソース	テレビ/ビデオ音声を消音してナビ音声を出力	
ミックス			テレビ/ビデオ音声とナビ音声のミックス	
テレビ/ビデオ消音	ナビ	入力ソース	ナビ	テレビ/ビデオ音声を消音
ミックス				テレビ/ビデオ音声
テレビ/ビデオ消音		ナビ/入力ソース		テレビ/ビデオ音声を消音して ナビ音声を出力
ミックス				テレビ/ビデオ音声とナビ音声 のミックス

# マスターユニットと接続して使う

## マスターユニットを接続してお使いになる前に

別売りのTVコントロール機能付きソニーバス対応のマスターユニットを接続すると、マスターユニット側で本機を操作できます。

ソース切り換えやチャンネル切り換えなど基本的な操作説明は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- モニターのスピーカーからはナビシステムの音声のみが出力されます。
- ソニーのTVコントロール機能付きマスターユニットを接続した場合は、モニター本体およびリモコンでの操作では一部のボタンが働きません。
  - テレビ/ビデオボタン
  - ナビボタンの2秒押し（サイマル機能は動作しません）
  - カーソル/決定ボタン（メニュー画面の操作のみ動作します）
  - POWERボタン（マスターユニットの電源が切れているときのみ動作します）
- マスターユニットのDSPLボタンでは本機の画面表示は換えられません。

マスターユニットを接続すると、本機のための操作や設定などは異なります。

- マスターユニットを接続しても操作が変わらない項目は前の章をご覧ください。
  - ワイド画面で見る（12ページ）
  - 画質を調整する（15ページ）
  - リモコン操作音の設定（18ページ）
- マスターユニットの表示とモニターの表示が一部異なるものがあります。

# テレビやビデオなどを見る

マスターユニット側で本機を操作します。

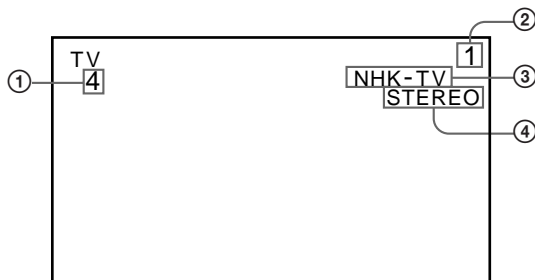
ソース切り換えやチャンネル切り換えなど基本的な操作説明は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

## テレビチャンネルを登録する

テレビチャンネルの登録はマスターユニット側で選局／登録します。くわしくはマスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

## チャンネル番号を画面に表示するには

リモコンの画面表示ボタンを押す。  
表示は約3秒間で消えます。



- ① 登録したプリセットナンバー
- ② テレビチャンネル
- ③ 放送局名（登録してあるとき）
- ④ ステレオ／二重音声表示

## 画像に応じた最適なワイド画面で見るには

「ワイド画面で見る」（12ページ）をご覧ください。

# ナビシステムの画面を見る

マスターユニットに電源が入っているときと電源が入っていないときとで操作が異なります。

## マスターユニットの電源が入っているときは(オーディオ情報を画面表示しているとき)

モニターのNAVIボタンを押す。  
リモコンで操作するときはナビボタンを押します。  
ナビシステムの画面が映し出されます。

ナビ画面の左下にマスターユニットの入力情報を表示します。この入力情報を消したいときは、リモコンの画面表示ボタンを押します。

### ナビ画面を消すには

- 1 マスターユニットのOFFボタンを押す。
- 2 モニターのPOWERスイッチを押す。

### オーディオ情報の画面表示に戻すには

モニターのNAVIボタンまたはリモコンのナビボタンをもう一度押す。

ご注意

オーディオ情報の画面表示から再度ナビ画面にすると、フルに戻ります。

## マスターユニットの電源が入っていないときは

モニターのPOWERスイッチを押す。  
POWERランプが点灯し、ナビシステムの画面が映し出されます。

ナビ画面のときにマスターユニットの電源を入れると、マスターユニットの入力情報を画面左下に表示します。

### ナビ画面を消すには

POWERスイッチを押す。

ご注意

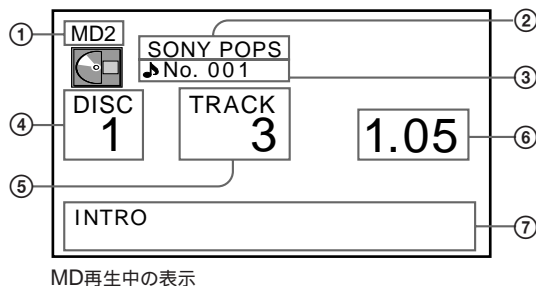
- モニタースピーカーからはナビの音声案内のみ出力されます。ナビの音量を調節する場合はモニターのVOLボタンで操作してください。
- モニターおよびリモコンでの操作では一部のボタンが動きません。
- 画面サイズを変えるとナビシステムの地図画面の縮尺も変化しますのでご注意ください。

マスターユニットと接続して使う

# オーディオ情報を見る

マスターユニットからの情報をモニターに表示させ、  
見ることができます。オーディオ情報の1画面のときは  
全てフルで表示されます。

## CD/MDの情報を見る



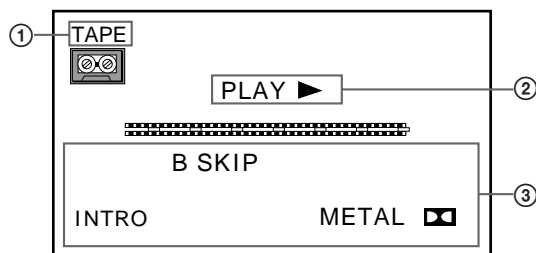
- ① 再生中のディスクの種類およびチェンジャー番号
- ② ディスク名\*
- ③ 曲名 (MDに登録されているときのみ)\*
- ④ ディスク番号 (チェンジャー再生のとき)
- ⑤ 曲番号
- ⑥ 再生時間
- ⑦ 各種設定表示

\* ディスク名および曲名はスクロールされません。

ご注意

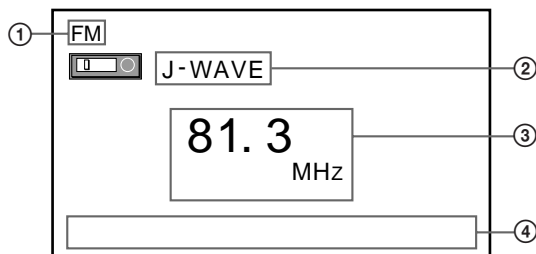
- CD-TEXTの情報を本機は表示しません。
- MDの漢字およびかなは表示しません。

## カセットテープの情報を見る



- ① カセットテープの再生表示
- ② 再生中表示と再生方向
- ③ 各種設定表示

## ラジオの情報を見る



FMラジオ受信中の表示

- ① ラジオのバンド表示
- ② 放送局の名前 (登録してあるとき)
- ③ 周波数表示
- ④ 各種設定表示



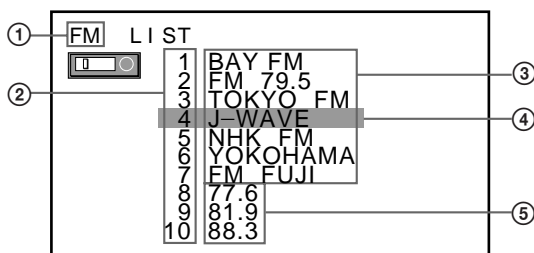
# オーディオ情報やラジオ局 / テレビチャンネルをリスト表示する

## マスターユニットに登録したラジオ局やテレビチャンネルをリスト表示する

マスターユニットに登録したラジオ放送局やテレビチャンネルのリストが表示できます。

くわしい操作説明は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

### ラジオ局 / テレビチャンネルの一覧表示



- ① テレビまたはラジオのバンド表示
- ② プリセットボタン番号
- ③ 放送局の名前 (登録してあるとき)
- ④ 現在受信中の放送局 (黄色枠で表示します)
- ⑤ 放送局の周波数 (登録してないとき)

### ご注意

- マスターユニットの操作は本機のリモコンおよびモニターのボタンでは操作できません。
- リスト一覧が1画面で表示されている間は、テレビ画面は映りません。

## リスト表示を消すには

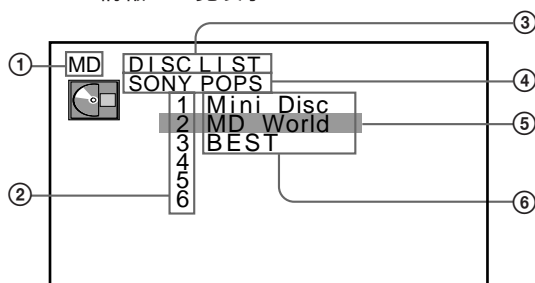
マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

## CD/MD機器のディスク情報をリスト表示する

マスターユニットにCD/MD機器 (別売り) が接続されているか、またはMDのマスターユニットのときディスク名や曲名 (MDのみ) などのディスク情報をリスト表示することができます。

くわしい操作説明は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

### CD/MD情報の一覧表示



- ① 再生中のディスクの種類およびチェンジャー番号
- ② ディスク番号
- ③ ディスクリストまたは曲名リスト\*表示
- ④ ディスク名 (MDの曲名リストを表示している場合)
- ⑤ 現在再生中のディスク名または曲名\* (黄色枠で表示します)
- ⑥ ディスク名または曲名 (登録してあるとき)

\* MD再生のとき

## リスト表示を消すには

マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。

マスターユニット  
と接続して使う

# 使用上のご注意

## プラスチック部品について

モニターやリモコンなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

## 異物について

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのままご使用になると火災や感電、故障、事故の原因となります。

## 無線機や携帯電話について

本機の近くで無線機や携帯電話を使用すると、画像が乱れることがあります。本機から遠ざけるか、使用をやめてください。

## 液晶パネルについて

- 液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- お手入れについては、次のことにご注意ください。
  - 液晶パネルについたほこりやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
  - ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
  - 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めることがありますので使用しないでください。
- 寒いところでご使用になる場合、内部照明装置（バックライト）が暗くなりますが、車内の温度が上がるともとに戻ります。
- 温度が5℃以下または45℃以上のところではご使用にならないでください。
- かなりの低温または高温になると映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。常温に戻ると回復します。

モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現われることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。また、電源を切ったときに数秒間画面に乱れが出る場合があります。あらかじめご了承ください。いずれの場合もお使いになる上で支障はありません。

### 事故防止のために

テレビ/ビデオ画面は、車を止めて、パーキングブレーキを引いてあるときのみ映ります。パーキングブレーキを戻すと、安全のため下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ/ビデオ画面を消し、音声のみとなります。また、メニュー画面も表示されません。各設定はパーキングブレーキを引いて行ってください。

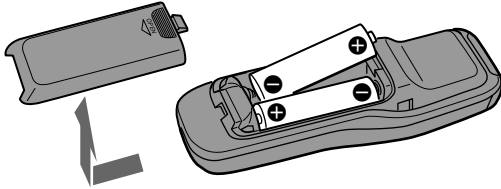
安全のため走行中は  
映像が出ません

運転をしながら、チューナーユニットに接続されている機器を操作したり、モニターの画面を見たりしないでください。事故につながるおそれがあり、危険です。

## リモコンについて

### 電池の入れかた

単3乾電池2本(付属)を⊕⊖を正しく入れる。



### 電池の交換時期は？

普通の使いかたで約6か月もちますが、カーソル/決定ボタンや音量ボタンなどで操作をひんぱんに行くと、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。リモコンの操作ボタンを押したときにLEDが点滅しなくなった場合は、電池の寿命です。

### 電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

#### ⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

#### ⚠注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液漏れが起こったときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを放置しないでください。熱により、リモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンをグローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

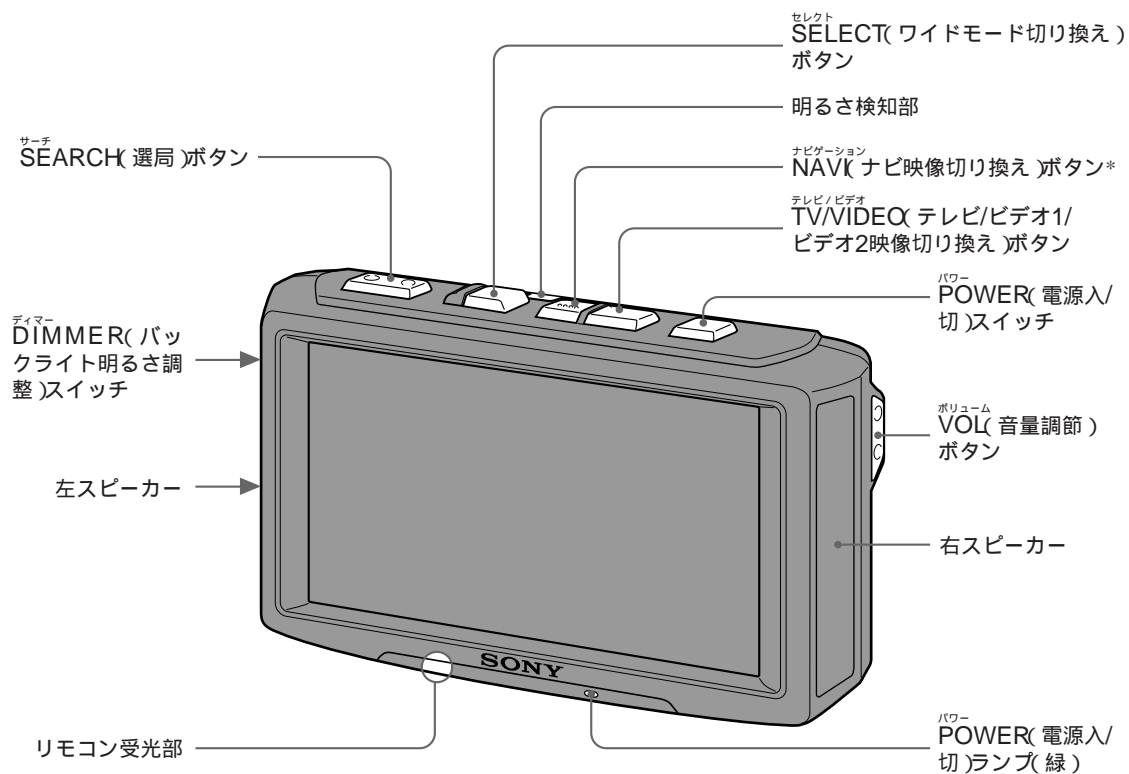
# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
画像、音がまったく出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• POWERスイッチを押す。</li><li>• ナビボタンまたはテレビ/ビデオボタンを押す。</li><li>• 電源コードがはずれている、またはしっかり接続されていない。 →別冊の「取り付けと接続」に合わせてください。</li></ul>
音は出るが、画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 消画機能が働いている。 →音量以外のボタンを押す。</li><li>• テレビまたはビデオ画面で走行している。 →走行中は安全のため画面は映りません。</li></ul>
画像は出るが、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• リモコンの音量ボタンまたはモニターのVOLボタンを押して音量を上げる。</li><li>• 消音機能が働いている。→消音ボタンまたは音量ボタンを押す。</li><li>• スピーカー出力の設定が「ナビ」になっている。 →「モニターなどの音声出力の設定」(16ページ)で設定してください。</li></ul>
はん点や点模様が走る。	アンテナは、なるべく雑音源(エンジンやバイクなど)から離してください。
画像がぶれる。	アンテナ線がはずれかかっていたり、山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込む場合は、画像がぶれることがあります。
つないだ機器の画像や音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• ナビボタンまたはテレビ/ビデオボタンを押す。</li><li>• 接続コードがはずれている、またはしっかり接続されていない。</li></ul>
チャンネルが選べない、またはテレビが映らない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• ビデオまたはナビゲーションモードになっている。 →リモコンのナビボタンまたはモニター本体のTV/VIDEOボタンを押して、テレビモードにする。</li><li>• リモコンの乾電池が消耗している。</li><li>• 放送局がないチャンネルをメモリーしている。 →チャンネルを合わせ直してください。</li></ul>
FMチューナーで音声がかえらない (マスターユニットを接続していない場合)	<ul style="list-style-type: none"><li>• FMトランスミッターアンテナを取り付ける。</li><li>• TVチューナーで設定した周波数と合っていない。 →設定した周波数に合わせます。</li></ul>
リモコンのボタンを押しても反応がない。	リモコンの乾電池が消耗している。
リモコンの特定のボタンだけ作動しない。	マスターユニット接続時は、一部機能しないボタンがあります。くわしくは22ページをご覧ください。
テレビのメニュー画面が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 走行中はメニュー画面は表示しません。</li><li>• サイマル操作時はメニュー画面は表示しません。</li><li>• ナビモードになっているとメニュー画面は表示しません。</li></ul>

# 各部のなまえ

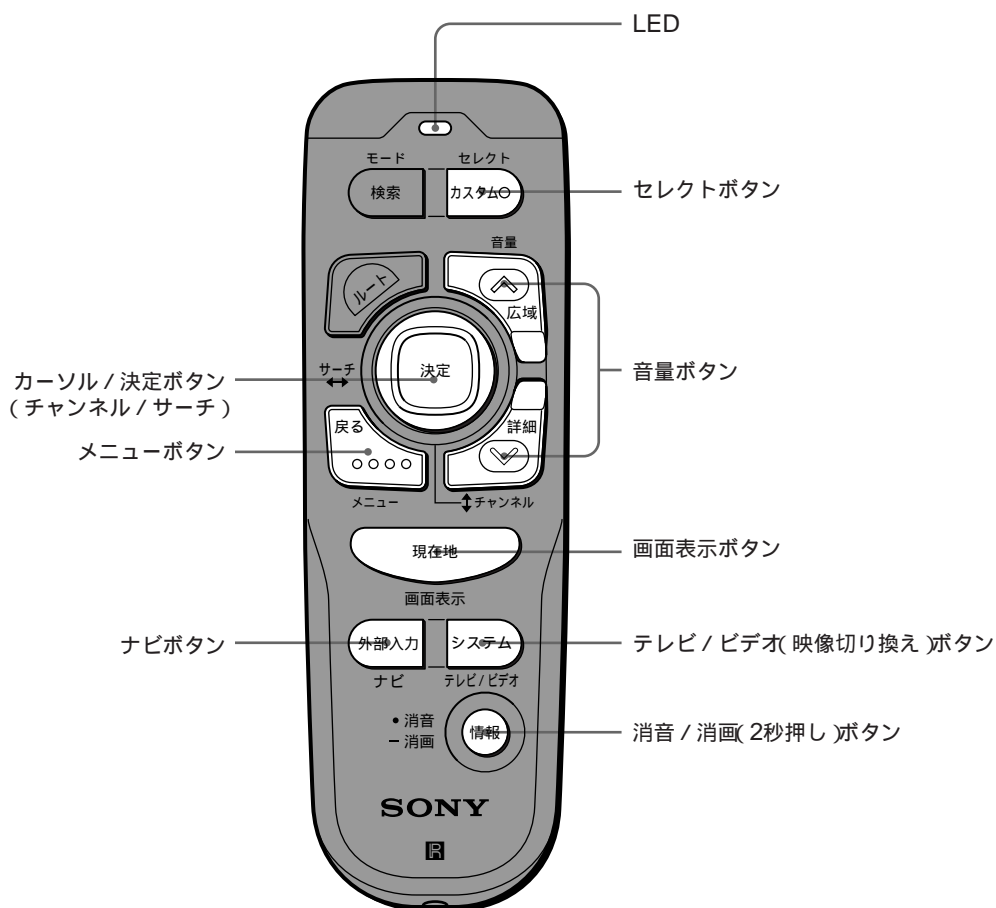
## モニター



\* ソニーバス接続時は、ナビ画面の表示をON/OFFします。

## 各部のなまえ(つづき)

### リモコン



リモコンはナビシステムと兼用です。青い表示文字はテレビを操作するときの機能名を表わしています。

# 主な仕様

## モニター

種類	ワイド液晶カラーモニター
表示方式	透過型TN液晶パネル
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面の大きさ	7型、155.52 × 87.75 mm、 178.57 mm(幅 × 高さ、対角線径)
画素数	336,960画素(縦234 × 横1440)
スピーカー	35 × 20 mm ダイナミックスピーカー × 2
電源	DC12 V
消費電流	約1.0 A
外形寸法	215 × 126.5 × 34 mm(幅 × 高さ × 奥行き)最大突起部含まず
使用温度範囲	+5 ~ +45
保存温度範囲	-20 ~ +80
質量	約650 g

## TVチューナーユニット

受信方法	NTSC方式
受信チャンネル	1CH ~ 12CH(VHF) 13CH ~ 62CH(UHF) (TVステレオ、音声多重)
FMトランスミッター出力周波数	86.0 MHz ~ 89.0 MHz (0.1 MHz間隔で連続可変)
電源	DC 12Vカーバッテリー
消費電流	約0.6 A
出力端子	映像出力： RCAピンジャック 1 Vp-p、75 音声出力 / バス音声出力： RCAピンジャック -10 dBs、 10 k トランスミッターアンテナ出力： RCAピンジャック モニター出力： 16ピン角型(専用) バスコントロール出力： ソニー専用バスコントロールジャック

## 入力端子

映像入力(2系統):  
RCAピンジャック 1 Vp-p、75  
音声入力(2系統) / バス音声入力(1系  
統):  
RCAピンジャック -10 dBs、  
10 k  
アンテナ入力(4系統)  
(ダイバーシティ):  
ミニジャック  
ナビ入力:  
20ピン角型(専用)  
RCAピンジャック  
映像 1 Vp-p、75  
音声(モノラル) -10 dBs、  
10 k  
バスコントロール入力:  
ソニー専用バスコントロールジャック  
231.6 × 30.6 × 139.6 mm(幅 × 高さ  
× 奥行き)最大突起部含まず  
約970 g

## TVアンテナ

コード	5 m、75 × 4(ミニプラグ付き)
形状	186.0 × 28.0 × 41.6 mm (エレメント収納状態、基台含む)
質量	約290 g(アンテナ1本およびケーブル を含む)

## 別売り品

モバイルTVアンテナ VCA-13 (車室内用) トランク取付キット RC-550MP
---

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 索引

## あ行

明るさ 15、16  
色合い 15  
色の濃さ 15  
映像入出力 16  
FMステレオトランスミッター  
14  
オーディオ情報 24、25  
オートステレオ 18  
オートブライトコントロール 16  
音声出力 16  
音量 8、10~11、14

## か行

外部音声出力 16  
画質調整 15  
画面サイズ 12

## さ行

サイマル機能 13  
主音声 17  
消音 13  
消画機能 13  
ステレオ音声 18  
ズーム画面 12

## た行

チャンネル番号表示 9  
デモモード 15  
テレビ 7~9、22  
自動登録 7、22  
手動登録 19  
テレビチャンネル設定 7、19  
テレビリモコン音 18

## な行

ナビシステム 10、23  
二重音声 17  
ノーマル画面 12

## は行

副音声 17  
ブライトコントロール機能 16  
フル画面 12

## ま、や行

ミュート機能 13  
モニター音声 16

## ら行

リスト表示 25  
リモコン 27、30  
リモコン操作音 18

## わ行

ワイドズーム画面 12

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

\*I-3-861-380-0